

2025 年度
横浜みどりアップ計画
実績報告書【巻末資料】



横浜みどりアップ計画の評価・提案

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2025 年度報告書

案

【抜粋】

横浜みどりアップ計画市民推進会議

2026 年〇月

目 次

1 はじめに	1
2 横浜みどりアップ計画市民推進会議について.....	○
3 市民推進会議 2024～2025 年度の活動実績.....	○
(1) 活動の概要	
(2) 活動の詳細内容	
ア 市民推進会議(全体会議)	
イ 施策別専門部会	
ウ 広報・見える化部会	
エ 調査部会(現地調査)	
4 横浜みどりアップ計画の評価・提案.....	○
◆計画の体系	
(1) 柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	○
施策1 まとまりのある樹林地の保全・活用	
(2) 柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる.....	○
施策1 農に親しむ取組の推進	
施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	
(3) 柱3 市民が実感できる緑や花をつくる.....	○
施策1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	
施策2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	
(4) 効果的な広報の展開	○
市民の理解を広げる広報の展開	
(5) その他事項に対する評価・提案.....	○
5 市民推進会議委員名簿.....	○
6 市民推進会議委員からのコメント.....	○
7 広報・見える化部会からの情報提供.....	○

(4)

効果的な広報の展開

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者の皆様に理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、広報媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を推進。

2025 年度実績報告書 関連ページ



●取組の評価・検証
p.〇～p.〇

事業①

市民の理解を広げる広報の展開

◆ 施策についての評価・提案

事業や対象ごとの広報の展開について

- ・広報は一つの目線ではなく、市民には市民目線、自治会には自治会目線、農家には農家目線、行政には行政目線が必要です。「みどり税がなければ横浜の大切なみどりを守れないこと」を、さまざまな目線から紹介していけば理解が深まるのではないかと思います。

広報の手段について

- ・行政の情報伝達手段としての紙媒体の減少、Web 媒体への移行の状況下で、情報が届く層・届かない層が変わってきています。Web 媒体では、情報の断片化と内容の先鋭化が進んでおり、個々の情報の編集精度を高め、理念がきちんと伝わるようにする必要があります。認知度の拡大だけでなく、理念浸透や満足度向上のための「情報の作り方」を、今後、さらに検証してもらいたいと思います。

市民の実感につながる広報について

- ・みどりアップ計画は「自分の暮らしに直結している」ものだということを市民に伝える必要があります。今ある仕組みだけではなく、もっと草の根的に広げていくような、全く異なる仕組みや方法で認知を効率的に広げていく方法を検討していく必要があると考えます。
- ・みどり税の認知の仕方についても、例えば使う言葉を「私たちはみどり税を通じて横浜の緑を守ることに参画しています」といった表現にすれば、市民が主体的に関わっているというイメージが伝わりやすくなると思います。

市のブランディングにつなげる体系的な広報について

- ・「みどりアップ計画は横浜独自の取組であり、プラスアルファの価値を生んでいる」ということを市民に伝えるようにしていく必要があると感じています。まちぐるみで緑を保全している価値を、「横浜市全体のブランドとしての緑」として位置付け、長期的な視点で、みどりのブランドをより強く打ち出して体系的に PRし、市民の誇りとなるような形にしていくことが大切だと思います。

.....

大竹 千広



実績報告書について

- ・地域は住民のニーズにこたえる形で動いています。そのためみどりアップ計画の実績についても、取組によって、地域に体験の場が広がったり、学校教育にもつながったりするなど、地域が実際にどのように活性化したのか、地域へどんな寄与があったのかといった波及効果について示すことにより、事業への評価がさらに高まるのではないかと思います。

市民の関わりの向上について

- ・緑の取組は学校だけでなく、地域へのアプローチも丁寧に行っていく必要があります。あわせてホームページや情報発信を分かりやすくできれば、活用できる人も増えるのではないかと思います。そのことが満足度向上にもつながると思います。
- ・横浜市の所有する土地や施設と、活動したい学生とをつなぐ仕組みがあれば、若者を緑づくりの現場に引き込むことができると思います。緑の取組は数多くあると思いますが、場所を作るだけでなく、活用したい人とならぐ取組も増やしていただけたらいいのではないかと感じました。
- ・みどりアップ計画の3つの柱はいずれも、単にハードを整備するだけではなく、「農を感じる」、「実感できる緑・花」、「森を育む」という、関わりを前提としたものです。そういう意味では、今後はより多くの市民がより多様な関わり方ができる施策を強化していく必要があると思います。それは広報だけではなく、例えばコーディネーター派遣のように、事業展開の中で関わりが生まれる仕組みを増やしていくことが重要だと思います。
- ・一度みどりに関心を持ってくれた人たちが、その後どうやって緑に関わり続けるのかといった点が重要だと思います。現状では、緑の維持管理活動や学習など、比較的深い活動が中心ですが、「維持管理まではいかなければ、少し体験してみたい」という層に向けた裾野を広げる事業が増えると、継続的に関わる方も増えるのではないかと思います。
- ・「木が1、2本あるだけで生まれる木陰」や、そこに置かれた居心地の良いベンチ、あるいは、ミストなどを使った涼しさの演出といった小さな工夫が、これからは必要だと思います。こうした小さな工夫によって、整備した場所がこれからも市民に愛される場所であり続けることが大切だと感じています。
- ・私たち17名の委員も、みどりアップ計画のアンバサダーのような立場で積極的にPRをしていきたいと思っています。

横浜グリーンエキスポについて

- ・地域で花づくりを行っていることに加え、林地や農地があり、農業も盛んであり、街路樹の整備にさまざまな工夫がされているなど、横浜グリーンエキスポは横浜市の多様な緑の取組を紹介できる機会でもあります。ホームページやパンフレット等で、「横浜市はこれまで長く、こんな施策を実施してきたから園芸博を開催する」という情報を発信し、海外の方に里山などにも足を運んでもらい、これまでのみどりアップ計画による実績を見てもらえるような工夫が必要だと思います。

維持管理について

- ・今後、植栽する樹種についても、高温や乾燥に強い種類やグラス類などの導入を検討する必要があると感じています。また、維持管理に関わる作業員の安全確保も重要です。草刈りロボットの活用や作業時間の見直しなど、働き方そのものを先進的に考えていくことが求められているのではないかと思います。

6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、みどりについて日ごろ感じたことについて、委員からのコメントです。

〇〇委員コメント

委員の皆さまにコメントをいただきます



7 広報・見える化部会からの情報提供

ソーシャルメディア note への記事掲載

横浜みどりアップ計画
市民推進会議広報誌

Yokohama
みどりアップ Action

https://note.com/yokohama_m_act



◆人生の節目のお祝いに、緑を！ おうちで育てる人生記念樹



(2025 年8月掲載)

◆彼岸花



(2025 年9月掲載)

◆「森があるから、生き物がいる」 —横浜の自然を次世代へ



(2025 年9月掲載)

◆森のパトロール



(2025 年 11 月掲載)

◆「みどりアップ」の現場に 行ってきました！



(2026 年1月掲載)

◆学生たちの手で拓く、 新たな「森」の在り方



(2026 年2月掲載)

◆みどりが支える川の生き方



(2026 年2月掲載)

※市民推進会議事務局で作成した記事はこのページに掲載していません。

「横浜みどりアップ計画」を子育て世代に PR するためのポストカードを作成しました。ポストカードは各区役所・土木事務所・公園緑地事務所・農政事務所等の公共施設のほか、みどりアップ計画に関連したイベント等でも配布しています。

表面



裏面

＜暮らしを支え、豊かにするみどり＞

横浜には、森・公園、田んぼ・畑、植物のみどりがたくさんあります。このみどりをずーっとつないでいきたい！というみんなの思いが「横浜みどりアップ計画」です。



みどりアップ計画



横浜みどりアップ 葉っぱー

＜みどりの体験はコチラから＞



森をたのしむ



緑をつくる



農を感じる



みどりアップイベントカレンダー

＜みんなでつくるみどりのAction＞

横浜にあるみどりの魅力はここから発信中！
note「YokohamaみどりアップAction」続々更新。





note「YokohamaみどりアップAction」

つながる想い、育つ緑
横浜みどり税

作成: 横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会
お問合せ: 横浜すみどり環境局戦略企画課(事務局)
TEL: 045-671-4214 E-mail: mk-mimiplan@city.yokohama.lg.jp

キリトリ線で切り取るとしおりになります！



2026年3月発行 メールはこちら



横浜みどりアップ 葉っぴー